

(参考様式4)

事業所名 グループホームどんぐりの里2

## 目標達成計画

作成日: 令和 7年 1月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	復唱する事も少なくなり、段々と意識しなくなってきている。新しい職員にも馴染みがなく、理念共有が出来ていない。	理念とは何かを考え、まずは言えるようになることから始め、入居者、職員、家族などそれぞれがお互いに優しさを持ち、それを踏まえた支援に繋がっていきたい。	・入居者も職員も見える所に掲げ、いつも目に入るようにする。 ・体操前や朝の申し送り時に一緒に復唱する。	12か月
2	40 41	習慣にして来た生活は施設に入居する事で少しずつ変わり、全て思うような生活は出来ない。業務短縮やADLの低下もあり、職員本位の支援になっている。また家族との関わりも含め、一緒に支援をする事が必要ではと考える。	食事や休む時間など本人のペースで暮らせられよう努める。わからない事や不安な事があれば傾聴し、なるべく意向に沿えるよう努める。また情報共有をしっかりと行い、家族との関係性も築きたい。	・その日の本人の様子(食事、睡眠、バイタル、表情など)を確認し、本人のペースを考えた支援をする。 ・年に数回家族との食事会などを開催してみる。	12か月
3	48	地域との関わりは、お祭りの参加や普段の買い物、訪問診療などがあるが、法人内での交流などは以前より少なく、サロンやカフェも職員のみ参加がほとんどで、関わる機会が少ない。	地域の人々や町内のお店などと関係を作り、お互いに助け合いながら安心した暮らしを構築する。	・ボランティア活動をしている人や団体を探してみる。 ・希望に沿った外出を検討。 ・法人内、地域行事への参加。	12か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。